

ゲノム医療サイエンティスト育成コース

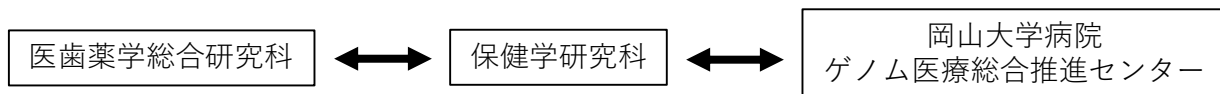
がんゲノム医療が加速する中、DNAやRNAなどの解析技術やタンパク質の機能解析など実際に検体を取り扱う知識と技術を持った臨床検査技師の育成が喫緊の課題となっています。

岡山大学病院も「がんゲノム医療中核拠点病院」に選ばれていますが、その選定基準として、病理部門にゲノム医療に関する専門性の高い臨床検査技師の配置が求められました。今後、このニーズはさらに加速し、実際に連携病院においてもその配置が求められるようになると予測されます。

そこで本コースでは、がんゲノム医療中核拠点病院である岡山大学病院の強みを活かし、ゲノム医療の現場で活躍できる人材を育成します。

コース選択者は、大学院修了までに「**遺伝子分析科学認定士**」「**バイオインフォマティクス技術者**」「**細胞検査士**」などの各認定資格の取得を目指します。

ゲノム医療サイエンティスト



- 遺伝子分析科学認定士（初級，1級）
- バイオインフォマティクス技術者
- 細胞検査士 など

履修方法：以下の科目を必修

- ゲノム病理学特論（2単位）
- ゲノム病理学演習（2単位）
- 細胞診断学特論（2単位）
- 細胞診断学演習（2単位）
- 分子細胞病理学実習Ⅰ（3単位）
- 分子細胞病理学実習Ⅱ（3単位）